

授業科目	物理療法学	3 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	山田崇史 (保健医療学研究棟 E407 号) e-mail : takashi.yamada1976@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、(安孫子幸子)		
概要	物理療法とは、物理的なエネルギーを生体に加えることによって生じる生理学的な反応を利用した治療法の総称である。本講義では、熱、超音波、電気、機械的刺激など種々の物理的エネルギーが持つ性質や、それらを生体に適用した際に生じる現象やそのしくみについて学習する。また、各種物理療法を安全かつ効果的に実施できるように、適応、禁忌、注意事項についても学ぶ。さらに、これらの学習を通して、病態像に即した物理療法を選択、適用できる論理的思考能力を養う。		
到達目標	1. 各種物理的エネルギーの特性を説明できる。 2. 各種物理的エネルギーを生体に適用した際の生理学的反応について説明できる。 3. 各種物理療法の適応、禁忌、注意点を列挙できる。		
関連科目	運動器障害理学療法学、神経障害理学療法学、内部障害理学療法学、発達障害理学療法学、高齢者理学療法学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	90%	
	レポート課題	10%	
教科書	①千住秀明 [2010 年] 「物理療法 第2版」 SHINRYOBUNKO		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	事前学習として、教科書の該当箇所を読んだ上で、授業に臨むこと。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	物理療法総論 定義と概要	事前：教科書第1章を読んでおくこと	講義	山田
2	物理療法の適応が多い病態の理解	事前：教科書第2章を読んでおくこと	〃	〃
3	温熱療法の概論	事前：教科書第3章を読んでおくこと	〃	〃
4	温熱療法の生理学的作用と治療への応用	事前：教科書第3章を読んでおくこと	講義・演習	〃
5	超音波療法の概論	事前：教科書第3章を読んでおくこと	講義	(安孫子)・山田
6	超音波療法の生理学的作用と治療への応用	事前：教科書第3章を読んでおくこと	講義・演習	〃
7	水治療法、寒冷療法の概論	事前：教科書第4章を読んでおくこと	講義	山田
8	水治療法、寒冷療法の生理学的作用と治療への応用	事前：教科書第4章を読んでおくこと	講義・演習	〃
9	電気刺激療法の概論	事前：教科書第7章を読んでおくこと	講義	〃

10	電気刺激療法の生理学的作用と治療への応用①	事前：教科書第7章を読んでおくこと	講義・演習	〃
11	電気刺激療法の生理学的作用と治療への応用②	事前：教科書第7章を読んでおくこと	〃	菅原
12	電気刺激療法の生理学的作用と治療への応用③	事前：教科書第7章を読んでおくこと	〃	〃
13	電気刺激療法の生理学的作用と治療への応用④	事前：教科書第7章を読んでおくこと	〃	(安孫子)・山田
14	電気刺激療法の生理学的作用と治療への応用⑤	事前：教科書第7章を読んでおくこと	〃	〃
15	機械的刺激療法の概論	事前：教科書第9-10章を読んでおくこと	講義	山田
16	機械的刺激療法の生理学的作用と治療への応用	事前：教科書第9-10章を読んでおくこと	講義・演習	〃
17	課題発表1	事前：課題レポートを作成すること	演習	〃
18	課題発表2	事前：課題レポートを作成すること	〃	〃
19	課題発表3	事前：課題レポートを作成すること	〃	〃
20	課題発表4	事前：課題レポートを作成すること	〃	〃
21	症例別物理療法処方の実際①：腰痛症	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
22	症例別物理療法処方の実際②：変形性膝関節症	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
23	症例別物理療法処方の実際③：上腕骨外側上顆炎	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
24	症例別物理療法処方の実際④：頸椎椎間板ヘルニア	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
25	症例別物理療法処方の実際⑤：関節リウマチ	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
26	症例別物理療法処方の実際⑥：手根管症候群	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
27	症例別物理療法処方の実際⑦：痙性麻痺	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
28	症例別物理療法処方の実際⑧：幻肢痛	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
29	症例別物理療法処方の実際：総合演習①	事前：講義内容を復習すること	〃	〃
30	症例別物理療法処方の実際：総合演習②	事前：講義内容を復習すること	〃	〃